

YAKU+DOLL

NO.67



公益財団法人静岡市体育協会ロゴマーク

- ・ 公益財団法人移行にあたっての会長あいさつ / 協会ロゴマークの決定
- ・ 平成 24 年度 財団法人静岡市体育協会表彰
- ・ スポーツ講演会『人生の金メダルを目指して（講師：山下泰裕氏）』
- ・ 〈特別企画〉山下泰裕氏インタビュー
- ・ 第 16 回体協ウォーキング / これからも元気な足腰運動教室
- ・ 加盟団体情報
- ・ 政令指定都市体育協会研究協議会 / プレゼント告知 / 編集後記

公益財団法人静岡市体育協会として新たなスタート

公益財団法人静岡市体育協会 会長 川村 修



このたび、財団法人静岡市体育協会は、静岡県知事より公益財団法人の認定を受け、平成25年4月1日より、「公益財団法人静岡市体育協会」として新たな一步を踏み出すことになりました。これも、ひとえに関係各位のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

当協会は、これまでも静岡市のスローガンであります「市民一人1スポーツ」の実現に向け、当協会インストラクターによる「昼のスポーツ教室」、種目団体からの派遣指導者による「夜のスポーツ教室」の開設や一般市民を対象とした「スポーツ講演会」などの主催事業を実施するなど市民スポーツの充実を図るとともに、指導者やアスリートの育成など生涯スポーツの普及、振興に努める等、様々な公益的な事業を行ってまいりました。

公益財団法人への移行にあたっては、こうした取り組みが「不特定多数の人々に利益をもたらす」公益目的事業として認定されました。

今後は、これを機会により一層公益目的に即した事業を実施し、地域スポーツの振興に寄与すべく努力してまいります。

なにとぞ、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

協会ロゴマークが決定しました！

財団法人静岡市体育協会では、平成25年4月1日より公益財団法人静岡市体育協会という新たな出発に向け、市民の皆様にご協力をいただき、協会の顔ともいえる『ロゴマーク』を公募しました。県内外問わず、非常に多くの方から応募をいただき、その結果、475作品という多くの応募をいただくことができました。

まずは、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

ここでは、いただいた475作品の中から選ばれました最優秀賞をご紹介します。最優秀賞作品については、今後協会の『顔』としてあらゆる場面で活用していきます。



公益財団法人静岡市体育協会ロゴマーク

〈最優秀作品〉

松岡 英男 様（グラフィックデザイナー：山形県山形市）

〈作品コンセプト〉

静岡市のSをモチーフにしてスポーツの喜び、そして健康・体力づくりで、のびのびと未来へ向かってジャンプしている姿をシンボライズしています。

平成 24 年度 財団法人静岡市体育協会表彰

功労章・優秀指導者章・優秀選手章

平成 25 年 2 月 22 日（金）、ホテルセンチュリーにおいて平成 24 年度当協会表彰式が行われました。

受賞された方々は、以下のとおりです。おめでとうございます。

功労章 15 名

勝 見 鉦 雄
静岡市山岳連盟



長年にわたり静岡市山岳連盟指導員として、主に一般市民や山岳関係者の技術指導を担っている。また、静岡市山岳連盟の諸行事、市民ハイキング大会、県民スポーツフェスティバルの運営委員として、多くの岳人を育てている。

優れた登山技術、指導力、卓越した組織運営力など、静岡市山岳連盟に無くてはならない存在である。

山 田 義 弘
静岡市サッカー協会



長年にわたり静岡市サッカー協会の重鎮として協会を支えている。特に総務、会計の仕事を昭和 53 年から平成 13 年まで務め、その後も役員として後継者の育成に努力している。

また、昭和 47 年に社会人クラブチーム（静岡やまき屋）を設立し、静岡県、東海社会人リーグに出場。26 年間、代表、監督として、選手の指導にあっていた。

安 齊 悦 雄
静岡市柔道連盟



平成 6 年に静岡市柔道連盟の会長に就任すると同時に（財）静岡市体育協会の理事として 10 年間、平成 16 年からの 4 年間は同協会副会長としてその任を全うした。

また、現在も静岡市北部体育館柔道教室の責任者として現場に立ち、その温和な人柄と優秀な指導力をもって、青少年の健全育成、競技力向上に貢献し、本市の柔道界の先頭に立って活躍している。

伊 藤 宏
静岡市スキー協会



長年にわたり静岡市スキー協会の事業や運営に積極的に協力し、その熱意と指導により、静岡市スキー協会の発展に寄与している。

指導者としてもジュニア競技者の育成に力を注ぎ、その手腕を発揮している。

また、静岡市スキー協会が実施するスキーツアーにおいても、その指導力でジュニア初心者、初級者を中心に指導し、スキーの普及や底辺の拡大に貢献している。

中 村 修 二
静岡市相撲連盟



昭和 38 年に高校総体個人戦に出場し 32 位、翌年の東西大会個人戦では 8 位と輝かしい成績を上げた。卒業後は静岡市相撲連盟に指導員として参加し、その経験を十分に発揮し後輩の指導にあたってきた。

昭和 56 年に創立した静岡市こども教室にも早くから参画し、小中学生に胸を出して、約 30 数年に及び底辺拡大に尽力してきた事は高く評価される事である。

市 川 博
静岡市ソフトテニス協会



昭和 46 年より母校静岡商業高校男子ソフトテニス部コーチを務め、第 1 回ハイスクールジャパンカップ優勝や栃木国体準優勝等現在までに数多くの選手を育てている。

また、静岡市ソフトテニス協会役員や静岡県ソフトテニス連盟副理事長、（財）静岡市体育協会理事等多くの役職を持ち、静岡県内ソフトテニスの育成強化と発展に寄与している。

瀧 田 佳 敬
静岡市バスケットボール協会



昭和 52 年より実施された日韓親善中学生バスケットボール交歓試合の静岡市選抜チームの監督を務め、その後も静岡市バスケットボール協会中学部理事として、中学生の技術、競技力の向上に貢献した。

平成 18 年より静岡市バスケットボール協会副理事長として、バスケットボールの底辺拡大、普及、発展に尽力している。

杉 山 修 身
静岡市野球連盟



昭和 48 年より審判員として連盟運営に参画し、昭和 54 年からは真面目と人柄の良さで理事として選手や審判員の育成に尽力された。

昭和 56 年より常任理事となり、事業部長をはじめ、各部の部長を務め、全国大会や県・市内大会の運営には、その手腕と指導力を発揮し連盟組織を纏め、関係者から厚い信頼を置かれている。

松 永 祐
静岡市ソフトボール協会



昭和 61 年に日本ソフトボール協会の指導者資格を取得し少年ソフトボールクラブの指導者として活躍する。

平成 20 年に静岡県ソフトボール協会総務部の一員となり、理事として、静岡市内だけでなく静岡県内での運営に活躍している。

円満温厚で責任感の強い人物である。

(故) 杉山 義司
静岡市スケート協会



卓越したスケート技術、理論で小中高生及び社会人を含め多くの選手育成に情熱あふれる取組をし、暖国静岡育ちの選手が各大会で北国の選手と肩を並べて競えるまでに成長させ、国体優勝者を出す等、スピード部会の強化部長として多くの選手の強化に尽力した。

人間味豊かで、人望が厚く、静岡のスケート界を発展させた功績は大である。

林 幸 男
静岡市体操協会



旧清水市の体操協会設立に貢献し、副会長として協会の発展充実に努めた。静岡・清水両市の体操協会合併時にも尽力し、合併後は静岡市体操協会の顧問を務め、平成20年からは理事長として協会の発展に貢献した。

静岡県体操協会常任理事、ジュニア部門担当の経験を活かして、県協会と市協会のパイプ役として、また、大会運営等の役員として協会発展に大きな貢献をしている。

内 藤 静 江
静岡ラジオ体操連盟



昭和51年4月小鹿薬大ラジオ体操会に入会し、昭和60年にA級指導者講習試験に合格、念願の指導員となる。非常に熱心に理論を勉強し、技術の向上に努めた。また、平成9年に、静岡市ラジオ体操連盟の講師に昇格し、女性指導員として名声を高めた。

現在は、指導部副部長、連盟理事をして、後輩の指導育成に尽力している。

日 下 敏 弘
静岡市バドミントン協会



自身は競技者として国体に昭和40年の第20回岐阜国体から10年連続出場を果たした。その後は監督として4回出場し、平成19年11月には、福井県で開催された、第24回全日本シニア大会60歳の部ダブルスで優勝している。

静岡市と旧清水市との協会合併においては、リーダーシップを発揮し、新組織誕生に導いた。合併後は理事長として活動している。

溝 口 稔
静岡市ダンススポーツ連盟



昭和62年に中部ブロックアマチュアA級選手となり、サークルなどで後進の指導及び普及発展に尽力している。

平成11年に静岡市内のダンスサークルをまとめ、静岡市ダンススポーツ連盟として組織化し、会長に就任。同時に(財)静岡市体育協会に加盟し、平成19年まで会長を務め、温厚な性格により、会員の信頼も厚く、現在もサークル長として指導にあっている。

勝 山 道 子
静岡市武術太極拳連盟



昭和57年から、旧清水市内各地域公民館で太極拳の指導を努め、会員の増加に伴い、清水太極拳協会を設立し、平成18年には、静岡県体育協会の要請で草薙体育館で指導を続けると共に、静岡県レクリエーション協会ニューエルダー元気塾の講師となる。

平成16年から静岡市武術太極拳連盟の発足とともに、事務局長に就任した。以後、連盟の業務運営等、多大に貢献をしている。

優秀指導者章 35 名

辻 秀 信
静岡市山岳連盟



篠 崎 勇
静岡市山岳連盟



坂 本 秀 一
静岡市サッカー協会



竹 澤 和 子
静岡市サッカー協会



増 岡 秋 男
静岡市柔道連盟



橋 口 涉
静岡市柔道連盟



築 地 雄 司
静岡市水泳協会



大 沢 稔 征
静岡市水泳協会



岡 本 哲 典
静岡市スキー協会



小 林 兼 吉
静岡市相撲連盟



伊 藤 均
静岡市ソフトテニス協会



安 松 初 雄
静岡市ソフトテニス協会



陰山正敏
静岡市テニス協会



久保田陽一
静岡市テニス協会



村松繁樹
静岡市バスケットボール協会



徳田利彦
静岡市バスケットボール協会



齋藤靖代
静岡市バレーボール協会



長田芳雄
静岡市バレーボール協会



小泉 齊
静岡市野球連盟



三木正道
静岡市野球連盟



石垣 誠
静岡市ラグビーフットボール協会



佐々木有紀
静岡市陸上競技協会



豊泉之規
静岡市ソフトボール協会



杉本 弘
静岡市ソフトボール協会



寺尾昭子
静岡市スケート協会



佐藤馨子
静岡市スケート協会



寺尾直之
静岡市体操協会



植松初美
静岡市体操協会



清野 勁
静岡ラジオ体操連盟



塚本巳千江
静岡ラジオ体操連盟



山田美夫
静岡市空手道連盟



木田成昭
静岡市バドミントン協会



佐藤清蔵
静岡市ダンススポーツ連盟



岩本悦子
静岡市武術太極拳連盟



石月美江
静岡市武術太極拳連盟



優秀選手章 6名



村松大輔
静岡市サッカー協会

大会名：第30回オリンピック競技大会
期 日：平成24年7月26日～8月11日
会 場：ウェンブリー・スタジアム（イギリス）
記 録：4位



小野田吏紗
静岡市陸上競技協会

大会名：第43回ジュニアオリンピック陸上競技大会
期 日：平成24年10月27日
会 場：日産スタジアム（神奈川県）
記 録：クラスC 走り幅跳び 優勝（大会新）



鈴木涼功
静岡市体操協会

大会名：2011 第6回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会
期 日：平成23年11月26日～11月27日
会 場：草薙総合運動場体育館（静岡県）
記 録：男子個人総合優勝・男子種目別（つり輪・平行棒・鉄棒）優勝



浅川信正
静岡市馬術連盟

大会名：ロンドン2012パラリンピック競技大会
期 日：平成24年9月1日～9月4日
会 場：グリニッジ・パーク（イギリス）
記 録：個人チャンピオンシップ 12位・個人フリースタイル 12位



市川隆太
静岡市トランポリン協会

大会名：47th Nissen Cap-Junior Competition2012
期 日：平成24年6月21日～23日
会 場：スイス
記 録：シンクロナイズド競技 1位・個人競技 3位



平岡勇輝
静岡市ウエイトリフティング協会

大会名：2012 ASIAN CHAMPIONSHIPS
期 日：平成24年4月22日～4月30日
会 場：ピョンテク（韓国）
記 録：94kg級 トータル353kg（日本新記録）5位
クリーン&ジャーク16kg（日本新記録）

創立 65 周年記念表彰 36 名

鷺山 久	〈静岡市山岳連盟〉	堀平 清	〈静岡市野球連盟〉
藤ヶ谷貞雄	〈静岡市山岳連盟〉	小泉雅弘	〈静岡市ラグビーフットボール協会〉
森 健次	〈静岡市山岳連盟〉	西貝昭治	〈静岡市陸上競技協会〉
高田雅司	〈静岡市サッカー協会〉	山内清一	〈静岡市陸上競技協会〉
伊藤多門	〈静岡市サッカー協会〉	橋本美智夫	〈静岡市陸上競技協会〉
小原晴世	〈静岡市サッカー協会〉	村上 馨	〈静岡市陸上競技協会〉
杉山 勝	〈静岡市水泳協会〉	高野 勇	〈静岡市ソフトボール協会〉
加藤崇史	〈静岡市ソフトテニス協会〉	佐野勝美	〈静岡市ソフトボール協会〉
山島百樹	〈静岡市ソフトテニス協会〉	吉田裕行	〈静岡市ソフトボール協会〉
長谷 優	〈静岡市ソフトテニス協会〉	梶山富士夫	〈静岡市ソフトボール協会〉
鈴木康弘	〈静岡市バスケットボール協会〉	青柳 正	〈静岡市スケート協会〉
鈴木成治	〈静岡市バスケットボール協会〉	若月和雄	〈静岡市スケート協会〉
林 芳久仁	〈静岡市バスケットボール協会〉	西村知子	〈静岡市体操協会〉
大川 勇	〈静岡市バレーボール協会〉	大石益雄	〈静岡ラジオ体操連盟〉
村田健児	〈静岡市バレーボール協会〉	小林茂雄	〈静岡ラジオ体操連盟〉
榊原敏郎	〈静岡市野球連盟〉	宗野保平	〈静岡ラジオ体操連盟〉
渡辺 勝	〈静岡市野球連盟〉	遠藤好美	〈静岡市トランポリン協会〉
杉山 繁	〈静岡市野球連盟〉	稲垣由明	〈静岡市ダンススポーツ連盟〉

静岡市長顕彰

平成 24 年 12 月 11 日、市役所静岡庁舎で本年度の静岡市長顕彰の授与式が行われました。
個人として、当協会の優秀選手章を受賞されたジュニアオリンピック陸上競技大会走り幅跳び
2 連覇の東中一年小野田更紗さん、国体重量上げ競技で優勝した当協会職員（当時）の平岡勇輝
が表彰されました。



スポーツ講演会

演題『人生の金メダルを目指して』

講師：山下泰裕 氏

(東海大学理事・副学長・体育学部長、(公財)神奈川県体育協会会長

認定 NPO 法人柔道教育ソリタリティー理事長)



平成 25 年 1 月 23 日 (水) しずぎんホール『ユーフォニア』にて一般市民を対象にスポーツ講演会を開催しました。

『人生の金メダルを目指して』を演題に、ご自分の競技人生において経験されてきたことをお話しくださしました。

「人生の金メダル、いつか私もそのメダルを貰えるよう日々格闘しております。スポーツ活動に一生懸命、熱心に取り組んだ弟子たちがそこで経験した事を人生に活かしていけば、自分の人生の金メダルを獲得することが可能であろうと、そういう思いから今日はこの演題にさせていただきました。」と話をはじめられました。

山下さんが柔道をはじめたのは小学校 4 年生の時でした。その頃クラスメイトが登校拒否になってしまいその原因が自分にあったと。「やっちゃんが怖くて学校に行けない。」その子はそう言って学校に来なくなってしまった。山下さんのご両親は共働きで子供の躰にまでなかなか手が回らなかった。でも自分の子供のせいで学校に来られない子がいるなんて…このままでは将来この子は後ろ指を指されるような人間になってしまうかもしれない。そう心配されたご両親が考え付いたのが、柔道をやらせることだったそうです。ご両親の考えでは、柔道、武道、もっと言えばスポーツというのは単に勝ち負けを競うのではなく、技術、体力を高めるだけでもない。人間を育み育ててくれるものであると、そう考えていたと。

柔道を通じて、山下さんは多くの人と出会い、人として大切なことを学ばれたそうです。ロサンゼルス・オリンピックで優勝した時に、小学時代の同級生がたくさん集まってお祝いの会を開いてくれたそうですが、その時に皆から『表彰状』をもらいました。手のつけられないほどの暴れん坊で迷惑の掛けられっぱなしであったけれども、オリンピックでは皆の期待を裏切るまいと怪我を抱えながらも堂々と金メダルに輝いたことを誇りに思う、といった内容のものでした。

スクリーンでの映像を使いつつ、また、先に出た賞状のお話の時もその内容を読み上げながら 1 つ 1 つ丁寧にお話いただきました。1 時間 30 分という当初の時間を過ぎてしまい、質疑応答も時間の関係でお一人になってしまったほどで、冒頭にも書きましたが「熱心・一生懸命」という言葉をまさに体現されている方なんだと感じました。

Interview

～スポーツ講演会特別企画～

柔道をはじめたきっかけはなんですか？

それは、今日の講演会でも話をするからね。 他の質問はないの？

(インタビュー開始早々、思ってもいない返答にこちらの方が少しびっくりしてしまいましたが、気を取り直して・・・)

では、今までの競技人生の中で、怪我に見舞われたり、または壁に直面するなどしたこともあったかと思いますが、どのように向き合って克服されてきたのですか？

そうだね。人には誰だっについている時があればそうでない時もある。喜びがあれば悲しみもある。出会いがあれば別れがある。全部があって私は人生だと思うんだよね。これは人によって程度が違うけど、誰にだってある。挫折を知らない人は、そういう人の気持ちがわからない。僕はそれはかえって不幸だと思う。

誰にだってそういうことはあるけれど、自分に起きたことをどういう風に捉えるか。捉え方というのは人様々なんですよ。成功が失敗のはじまりだったり失敗が成功の飛躍になったり。要は、我々には色んな事が起きるけど、起きたことをどう捉えるのか。僕は自分にとってプラスになるように考えていくことが大事だと思う。でで、僕が良かったのはこういったことをプラスになるように考えていくのが上手かった。でも、プラス思考というのとはちょっと違うかな。

でも、すごく気持ちが落ち込んでしまっているときに気持ちの切り替えをすることはなかなか大変ではないですか？

例えば？具体的な例を挙げてみて。

中学の時にソフトボールをやっていたのですが、投げても投げてもストライクがなかなか入らなくて、試合に負けてしまった事がありました。その時、自分は投げない方が良いのではないかと思ってしまって。そんな思いを抱えたまま次の試合で投げても、やっぱりストライクは入らなくて。それを繰り返してしまうような・・・。

わかるよ。それを僕の例に置き換えると、大事な試合。すごく重苦しい雰囲気。プレッシャーが襲ってくる。その時に自分の中で考えるんだよ。じゃあ、俺はここに出れなくて、寂しくこの会場で応援する人間でありたかったのかって。



ここに来るまでには数々の予選を勝ち上がって来てる訳です。ここで試合する為に頑張ってきたんじゃないの？って。今ある自分とは、自分にとって望ましい姿な訳です。だから、今の自分に出来ることは、今持てる力を全て出し切る、全力を尽くす、それ以外に何が出来るのか？って考えたね。

もっと言うと1980年のモスクワ・オリンピック。日本が不参加になった翌日の試合で足を骨折して、多くの新聞が私の骨折の記事を掲載した。日本一、不幸でなんて可哀相な人なんだ。昔から夢だったオリンピック、夢が潰れて足を骨折して、ベッドの上で泣いているに違いないって。でも、私はそうは思わなかったんだよね。骨折したのは肋骨で日常生活や競技生活には影響しない部分だったから、神様が私の競技に影響の無い骨を折って休みをくれたんじゃないかなあと。

声が聞こえたんだよね。「山下、おまえはよく頑張ったよ。今までのお前の努力は全部良い結果に繋がってきただろう。でも人生ってそういうものじゃない。頑張っても上手くいかないときもある。今は休め。疲れ果てた心と体をゆっくり休める。そして、おまえにとって柔道がどんな意味があるのか、もう一度よく考えて、そしてそこから歩んでいけば良いよ」って。凄いと思いませんか？

それから凄いのは、松下電器の創始者の松下幸之助さん。彼は「俺は運が良かった。小学校しか出なかった。小学校しか出てなくて自分には学が無いから誰にでも質問できる。みんなは可哀相だな。一流大学を出てるから、恥ずかしくて聞けないだろう。俺は色んな人の知恵をもらってる。」って。

あとは、電車に乗っていて、上の棚から鞆が落ちてきて自分の腕に当たった。その時彼はどう思ったか。頭じゃなくて良かった。他の人じゃなくて子供じゃなくて良かった。そう彼は思ったんですね。

考え方一つで、ずいぶん変わりますね。そういう考え方が、その後の人生やその人自身に大きく影響を与えるということですね。色んな事があって人生だということを認識した方が良いと思う。自分に起きたことは失敗だったと思うのではなく、「ああ、良い勉強した。これは学習だ。」と。学習だと思えば次に生かしていけるでしょう？そこが自分は上手かったんだと思うんだよね。そういう風に思ってるから、起きた事から自分は何を学ばなければならないのかっていうように考えるよね。

全日本監督時代に「先生大変ですね。」ってよく言われましたよ。「大変ですね。勝たせなきゃならないのですから。」って。「勝たせる？」確かに勝つことは簡単ではないけれど、僕が勝ちたいの。僕が選手に勝たせたいの。しなければならぬんじゃないかってね。

沢山いる中から「監督はおまえに任せる。」と言われて「俺で良いのかな？」って思うようならやめた方がいいよ。僕は、どこまでできるかわからないけれど、こんなにやりがいのあることは無い。自分の全てを掛けて選手の為に、日本の為にやりますよ！」って気持ちでした。大変だからこそやりがいがあるし、こんな光栄なこと無いってね。

良いことがあっても、のぼせ上ればそこから落ちてしまう。それに失敗して落ち込んでいても、誰も上げてはくれない。全部自分だし、色んな事を経験してこそ、人生でしょう。そう思って私はやってきましたね。

第16回体協 ウォーキング



平成24年11月18日（日）に第16回体協ウォーキングが開催されました。前日は雨が降っており、若干の不安もありましたが天気予報通り当日は快晴となり、またこの時期にしては気温も高く、絶好のウォーキング日和となりました。

今回のウォーキングでは、コースの中に幾つか『見学』できる場所を盛り込みました。まずは、『見性寺』とお寺に隣接する『中勘助文学記念館』です。見性寺は輔苦離往生佛（ぼっくりおうじょうぶつ）が祀られており、ここをお参りすると苦しまずに最後を迎えることができる！といわれています。参加者の中には、鐘を何度も鳴らしている方もいらっしゃいました。また、中勘助文学記念館は『銀の匙』で有名な中勘助が静養の為に一時的に住んでいた場所を、現在一般開放しているものです。

見学が終了したら、いよいよウォーキング出発です。4班に分かれてまずは昼食場所の『ネオパーサ静岡』まで1時間半ほどかけて歩いていきます。到着時はお昼前だったこともあり、昼食時の混雑は避けることが出来ました。各々昼食を取ったりお土産を購入したりと、休憩時間を楽しんでいただけているようでした。

そして後半スタートです。ここから岡部の『玉露の里』まで同じく1時間半かけて歩いていきます。出発直後は上り坂が続く、皆さんも少しお疲れの様子でしたが、途中で猪が川を横切るところに遭遇し、参加者からは思わず歓声があがるなどの場面も見受けられました。

ゴール地点は、『玉露の里』です。「あと少し」「もうちょっと」とお互い声をかけ合いながら、全4班ゴールすることが出来ました。全参加者事故や怪我なく、無事終了することができました。

今回も静岡市山岳連盟の方々にご協力をいただきました。この場をかりて感謝申し上げます。

今年度も『これからも元気な足腰運動教室』と銘打って、中高齢者向け運動講座を開催しました。

静岡市中央体育館（H24. 10. 15～11. 26の毎週月曜日開催）と清水清見潟公園スポーツセンター（H24. 10. 10～11. 28の毎週水曜日開催）を会場に今回も多くの方に参加をいただき、市民の皆様の健康に対する関心の高さが伺えました。

日本は世界の中でも健康寿命（日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる期間のこと）が第1位であり、静岡県はその日本の中でもトップに入ります。こうした結果は、もちろん運動だけではなく、食生活や土地の気候・風土など様々な要因があると思いますが、こういった運動教室へ積極的に参加しようという意識の高さも大きな理由の1つではないかと思います。



中高齢者対象講座

『これからも元気な
足腰運動教室』

教室ではストレッチ、ウォーキング、筋力トレーニングを中心に行いました。

年齢を重ねると、どうしても身体全体の可動域が狭くなり、自分で意識的に動かす機会も少なくなってくるため余計に身体が固くなってしまいます。それを、少しずつ自分のできる範囲で身体をほぐしながら運動をしていきました。また、大変なこと、難しいことではなく、気軽に自宅でも続けられることを実感してもらいました。全6回という回数ではありましたが、最終回を迎えるころには、「肩の痛みが軽くなったよ」や「筋力が少しだけどついた気がする」といった声を聞くことができました。何よりも、この教室を「毎回来るのが楽しくて」といって参加して下さる生徒さんのその笑顔を見られることが、私たちにとっても非常に嬉しくやりがいのあるものとなりました。

【 静岡市野球連盟 】

大会名：水戸市長旗第 20 回東日本軟式野球選手権大会
期 日：平成 24 年 11 月 3 日（土）～ 6 日（火）
会 場：茨城県水戸市
成 績：優勝（静岡ガス株式会社）



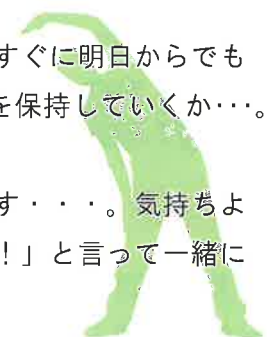
大会名：文部科学大臣杯第 4 回全日本少年春季軟式野球大会
期 日：平成 25 年 3 月 22 日（金）～ 25 日（月）
会 場：静岡市西ヶ谷総合運動場野球場
出場チーム：全国中学生 32 チーム（内静岡県 4 チーム）
静岡市での出場は静岡市立服織中学校（静岡県予選 準優勝）

【 静岡ラジオ体操連盟 】

『自分の健康は自分で作ろう』これがラジオ体操会の合言葉。
『いつでも、どこでも、だれでも』何の設備も器材も一切必要なし。自分にその気があれば、すぐに明日からでもできる。鍛えるというのは 20 歳からせいぜい 40 歳まで。そして 60 歳になったらいかに現状を保持していくか…。これは大変なことです。

そこで毎朝 6 時 30 分。清々しい太陽の光を浴びて新鮮な空気を吸って思い切り手足を伸ばす……。気持ちよく気分転換。市内には 60 余会場あり、どこでも結構です。元気よく「おはようございます！」と言って一緒にやりましょう。

あなたの老化を防ぐためにも……。お待ちしております！



【 静岡市フロアボール協会 】

※平成 24 年度から全国にあった室内ホッケーの協会が 1 つになり、日本フロアボール連盟となりました。
平成 24 年 8 月 5 日（日）静岡市中央体育館で開催された全国男女大会開催 男子：優勝 女子：準優勝
平成 24 年 10 月 28 日（日）群馬県富岡市で開催された全国シニア大会に出場 優勝 という好成績をそれぞれおさめることができました。

平成 25 年 1 月 27 日（日）全国男女選手権大会、平成 25 年 2 月 24 日（日）全国混成選手権大会へ出場しました。
また、平成 25 年 10 月 13 日（日）に静岡市北部体育館にて全国シニア大会が開催されます。

【 静岡市相撲連盟 】

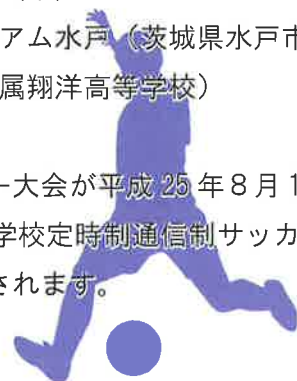
生徒募集中！！

平成 25 年度『静岡市民こども相撲教室』開催
対 象：静岡市在住の幼児・小学生・中学生（女子も可）
期 間：平成 25 年 5 月～平成 25 年 10 月
場 所：静岡市城北運動場相撲場
時 間：18：00 ～ 20：00
指導者：静岡市相撲連盟
その他：まわしは連盟で用意します！
問合せ：宮城 智
（連絡先は静岡市体育協会にお問い合わせください。）



【 静岡市サッカー協会 】

大会名：平成 24 年度第 43 回全国中学校サッカー大会
期 日：平成 24 年 8 月 23 日（木）
会 場：ケーズデンキスタジアム水戸（茨城県水戸市）
成 績：準優勝（東海大学付属翔洋高等学校）
第 27 回全国少年少女サッカー大会が平成 25 年 8 月 10 日～ 14 日、第 23 回全国高等学校定時制通信制サッカー大会が平成 25 年 8 月に開催されます。



政令指定都市体育協会研究協議会が開催されました

平成24年11月1日(木) 静岡グランドホテル中島屋を会場に、第14回政令指定都市体育協会研究協議会が開催されました。

この協議会は、政令指定都市の体育協会が一堂に会し、各団体相互の情報交換及び調査・研究を行うことにより、各都市の体育・スポーツ振興を推進することを目的として発足し、今回で14回目を数えます。

今年度は当協会が開催市となって他都市の皆様をお迎えし、今の体育協会が抱える問題やこれから取り組むべき課題など、積極的な意見交換が行われました。3時間という長丁場ではありましたが、非常に有意義な協議会であったと思います。年に一度の開催ではありますが、互いの状況を報告し合い、更なる親睦を深める良い機会となりました。

**承道 山下泰裕氏****直筆サイン色紙 プレゼント！**

賞品内容：山下泰裕先生の直筆サイン色紙です。(抽選で10名)

応募期間：平成25年4月1日～4月30日 到着分まで

応募方法：郵政はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記載の

うえ、簡単なアンケート(①第67号『躍動』の内容はいかがでしたか②今後『躍動』にどのような記事を望まれますか③体育協会に今後望むことはありますか)にお答えいただき、下記宛先までご応募ください。また、当協会HPからもご応募いただけます。詳しくは新着情報をご覧ください。

応募先：〒420-0856 静岡市葵区駿府町2番80号

公益財団法人静岡市体育協会「山下泰裕氏直筆サイン色紙プレゼント」係

当選発表：応募者多数の場合は抽選を行い、発送を持って発表にかえさせていただきます。

発送は5月の下旬を予定しています。

その他：個人情報の取扱いは厳重に管理し、目的以外には使用いたしません。

**〈 編集後記 〉**

各種競技団体の皆様及び事務局の多大なるご協力により、第67号が発刊できましたこと心よりお礼申し上げます。

ロンドンオリンピックに引き続き、今年も野球やフィギュアスケートなどの世界大会が行われ、スポーツへの関心は高まる一方であると感じています。世界で活躍するトップアスリートの育成に、地域スポーツ振興は欠かすことはできません。当協会職員であった平岡勇輝選手は、5度の全日本ウエイトリフティング選手権優勝という偉業を成し遂げましたが、彼が果たしたスポーツ振興への貢献も大きいものがあると思います。

今後は、公益財団法人として、そして広報誌『躍動』を通じて、今まで以上にスポーツの普及・振興、競技力向上に貢献できるように努力してまいりますので、宜しくお願い致します。

調査広報委員 藤原 林・杉山範雄